

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胃癌に対する腹腔鏡内視鏡合同胃局所切除術(LECS)の後方視的検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2013年7月1日から2022年4月30日に昭和大学病院で胃癌の診断で腹腔鏡内視鏡合同胃局所切除術を行った患者さん
2. 研究目的・方法 近年、胃の良性疾患に対して侵襲が少なくかつ胃の機能を温存する目的で開発された腹腔鏡内視鏡合同手術(LECS)を内視鏡治療が困難な早期胃癌患者さんや重度な併存疾患を持っている胃癌患者さんに対しても適応されつつあります。今回、昭和大学病院で胃癌に対して行われたLECSの治療成績を検討することでその安全性と妥当性を評価することを目的としました。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年7月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 研究対象者について、下記の情報を電子カルテより取得します。 患者背景(年齢、性別、身長、体重、併存疾患) 術前検査所見(内視鏡検査所見、CT検査所見、血液検査所見) 手術術式・治療成績(手術内容、手術時間、出血量、リンパ節郭清の程度、術後合併症、病理結果) 術後経過(栄養状態、体重)、再発、予後(併存疾患の悪化)
5. 外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院、昭和大学附属東病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学病院消化器一般外科(提供元)から昭和大学医学部外科講座消化器一般外科学部門(提供先)へ研究者

のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任（代表）者 研究機関名 昭和大学病院 氏名 山崎公靖

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座消化器一般外科部門）氏名：山崎 公靖

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541